

ゆかいな しあわせカフェ 永井川



村民同士で過ごす
安心感がうれしい

村民同士が寄り添って
結んだ新たなつながり

福島市永井川地区の集会所を
拠点に、毎月1回、メンバーが話し
合って決めたさまざまな企画を
行っています。もちつき会、健康相
談など、その内容もさまざま。気
兼ねなく話せる、村民同士だから
こそ温かな雰囲気、メンバーの
心をいやします。「しあわせカフェ」
は、村民同士の交流と健康づくり
を目的に村の健康福祉課が始め
た事業でしたが、現在是有志が自
主的に運営しています。



特別なことをしている訳
ではないんです。集まれ
る人同士が集まって、相
談しながらやっていただけ
なんです。人と人とのつ
ながりや出会いを、これか
ら大切にしていきたいと
思います。

代表世話人
佐藤俊雄さん(草野)



川内村での視察研修 村の将来に思いを馳せて

「ゆかいなしあわせカフェ永井
川」では、10月17日には、川内村で
視察研修を行いました。

段階的な避難指示解除が本村
より早く進んだ川内村では、現在
約8割の村民が、帰村して暮らし
ているそうです。生産する作物の
種類を絞ってブランド化する取り
組みや、村外出身者が村民と共に
新しい事業を行っている様子など
について、参加者は、案内人の話に熱
心に聞き入りました。離れていて
も、故郷の未来に思いを寄せる活
動が続いています。



川内村での視察研修の様子
(上)元役場職員が実家を継ぎ
ベトナムからの外国人技能
実習生を受け入れ菌床栽培を
行っているきのこ園
(下)LEDライトを使用する
人口の光と培養液で野菜栽
培を行っている野菜工場
「KiMiDoRi」



村の人が避難の中で花き
栽培をやっていると聞いて、自
分も挑戦しようと思いました。村
に相談し、補助を入れてもらっ
て、平成24年から始めること
ができました。村の人にも、気
軽に訪ねて来てほしいし、いず
れは村に戻って花き栽培を行
いたいと思っています。

北原彰さん(宮内)



グラウンドゴルフ大会



体操教室

会員の声を聞き
さまざまな活動を展開

きつつの会では、村などの補助を
活用して、研修や交流活動を積極
的に実施しています。今年は、体調
に不安を抱える声にこたえて体操
教室をスタートし、吉井雅彦先生
を講師に楽しく健康増進に励ん
でいます。また、10月10日には、「い
いたてスポーツ公園」でグラウンド
ゴルフ大会と芋煮会開き、和やか
な一日を過ごしました。避難によっ
て生まれた自治会が、活動を重ね
て、人と人とのつながりを深めてい
ます。

どこにいても
つながっていよう

きつつきの会



「きつつきの会」のみんな
は、事業を「やろう」と声をかけ
るとすぐに集まってくれる。集ま
れる人で、言いたいことを言い
合いながらやってきました。避
難生活は、忘れることのできな
いもの。これから先、どんな形
になっても、このつながりを守っ
ていきたいと思っています。

会長
齋藤政行さん(前田)



県外でがんばる 村民のもとを訪ねて

借り上げ住宅に避難した村民
の自治会として、平成24年から
活動を続ける「きつつきの会」。川
俣町に事務所を置き、多様な活
動で、会員の交流を深めてきまし
た。10月5日に実施した今年の研
修旅行では、栃木県那須塩原市
で花き栽培に取り組む北原彰さ
ん(宮内)を訪ね、北原さんが、知
り合いもいない避難先で、近所の
人を家に招いてコミュニケーション
をとっていた様子など、これま
での経緯や、現在の花き栽培の状
況などに耳を傾けました。



「いいいたてスポーツ公園」のハナモモ記念植樹では
一般参加者と共に活動しました